

# 目覚めゆく広場

15M 運動の一年



# 目覚めゆく広場——15M運動の一年

原題：El Despertar de Les Places - Un Any de 15M

監督：リュック・グエル・フレック, ジョルディ・オリオラ・フォルク

制作：TransformaFilms, 2012年, バルセロナ (45分)

日本語字幕：芦原省一, 海老原弘子

URL：[http://www.youtube.com/watch?v=xy\\_8NXEMqw8](http://www.youtube.com/watch?v=xy_8NXEMqw8)

2011年5月、「インディグナドス（怒れる者たち）」と名づけられた民衆による抗議活動が、瞬く間にスペイン全土に広がった。この一連の抗議活動は、5月15日（15 de Mayo）に行われたデモが出発点となったことから、15M（キンセ・エメ）運動とも呼ばれている。とりわけ「広場の占拠」という独特の抗議方法は国外からも注目を集め、約4ヶ月後に「ウォール街を占拠せよ」として、大西洋の反対側に再び姿を現すことになった。

地方選挙戦の真っ只中に始まったことから、当初15M運動は、当時の社会労働党政権に対するスペインの人々の不満の表れとして報道された。しかしながら、「今すぐに真の民主主義を！私たちは政治家や銀行家の手中にある商品ではない」というスローガンに明白なように、その本質は金融権力に乗っ取られた議会制民主主義モデルに対する批判であった。

事実、広場を占拠するというアイデアは、新しい民主主義のかたちを探るために、参加型の直接民主主義を実践する場を確保するという必要性から生まれている。こうしてスペイン各地に現れた「キャンプ」の中でも、首都マドリッドのプエルタ・デル・ソル広場に並ぶ規模を誇ったのが、バルセロナ市中心に位置するカタルーニャ広場のバルセロナ・キャンプであった。

2012年5月、カタルーニャ広場占拠の参加者6人が一同に会するところから始まる『目覚めゆく広場——15M運動の一年』は、バルセロナの怒れる者たちの足跡を辿るドキュメンタリーであり、一年後の視点から15M運動を分析する試みだ。バルセロナ・キャンプの誕生から、州警察による強制排除や州議会包囲といった出来事を経て、各地区での集会へと変容するまでが描かれている。

広場の占拠は姿を消してしまっただが、スペイン社会を揺るがす変革の波は今もなお続いている。15M運動が未曾有の危機に苦しむスペインの転換点となったことに疑いの余地はないだろう。

CC-BY-NC-SA

[www.transformafilms.org](http://www.transformafilms.org)

連絡：TransformaFilmsJP@gmail.com

